

2024年11月27日

アイリスオーヤマ、
王子ネピアの赤ちゃん用紙おむつの生産設備を一部取得
「Genki!」ブランドのライセンス契約を締結し、2025年生産開始

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘、以下当社）は、王子ネピア株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：森平 高行、以下王子ネピア）から11月21日付で国内赤ちゃん用紙おむつの一部の生産設備を取得し、王子ネピアが国内で販売する「Genki!」ブランドのライセンス契約を11月25日付で締結しました。当社は、富士裾野工場の一部を改修し、2025年上旬を目途に赤ちゃん用紙おむつの生産を開始します。

当社は、2020年に新型コロナウイルス感染症の流行を契機にマスク需要が急増したため、中国の大連工場と蘇州工場の2拠点の生産に加え、2020年7月に宮城県角田工場にマスク生産設備を導入したことで、日本国内に月2億3千万枚のマスクを供給できる体制を構築しました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後も、不織布製品の生産技術を活用した商品開発を行い、ラインアップを拡充することで、マスク以外の除菌ウェットシートやフローリングシートなどの新商品を発売してきました。

当社は、このような不織布製品の知見を活用したヘルスケア事業の強化を検討する中で王子ネピアと協議を重ね、国内赤ちゃん用紙おむつの生産設備の取得と「Genki!」ブランドのライセンス契約に至りました。

1. 内容

- 王子ネピアが所有する国内の赤ちゃん用紙おむつの生産設備の一部取得
売買契約日：2024年11月21日
- 王子ネピアが国内販売する赤ちゃん用紙おむつ「Genki!」ブランドのライセンス契約
締結日：2024年11月25日

2. 今後の展開

この度、赤ちゃん用紙おむつの生産設備を取得し、「Genki!」ブランドのライセンス契約を締結したことで、「Genki!」ブランドの高い知名度と当社の強みである物流体制と販売網を活かして、赤ちゃん用紙おむつ事業に新規参入します。今後、赤ちゃん用紙おむつを事業の柱に加え、衛生用品のラインアップを拡充することで、ヘルスケア事業の経営基盤を強化します。

赤ちゃん用紙おむつを生産予定の富士裾野工場は、飲料水の生産工場として2023年7月に稼働を開始しました。重量物の飲料水を積載したトラックは積載量規制で荷台に空きスペースが生じるため、容量物の赤ちゃん用紙おむつを混載することで、積載効率を最大化でき、物流の効率化を実現します。

当社は、今後も赤ちゃん用紙おむつ、マスクなど衛生用品を中心に、段階的にヘルスケア関連商品のラインアップ拡充を図り、2030年にはヘルスケア事業で売上高約400億円を目指します。

3. 王子ネピア株式会社 概要

名 称：王子ネピア株式会社

所 在 地：東京都中央区銀座 5-12-8 王子ホールディングス 1 号館

代 表 者：代表取締役社長 森平 高行

事 業 内 容：ティッシュ及び紙パルプ加工品、ならびに紙おむつの製造、加工ならびに売買

4. アイリスオーヤマ 富士裾野工場 概要※

工場取得日：2023 年 1 月 24 日

所 在 地：静岡県裾野市須山 2810 番地の 4 他

敷 地 面 積：60,759 m²

延 床 面 積：20,981 m²

従 業 員 数：約 140 名

製 造 商 品：飲料水

【物流倉庫】

延 床 面 積：45,583 m²

パレット数：約 80,000 パレット

※：2024 年 10 月末時点。